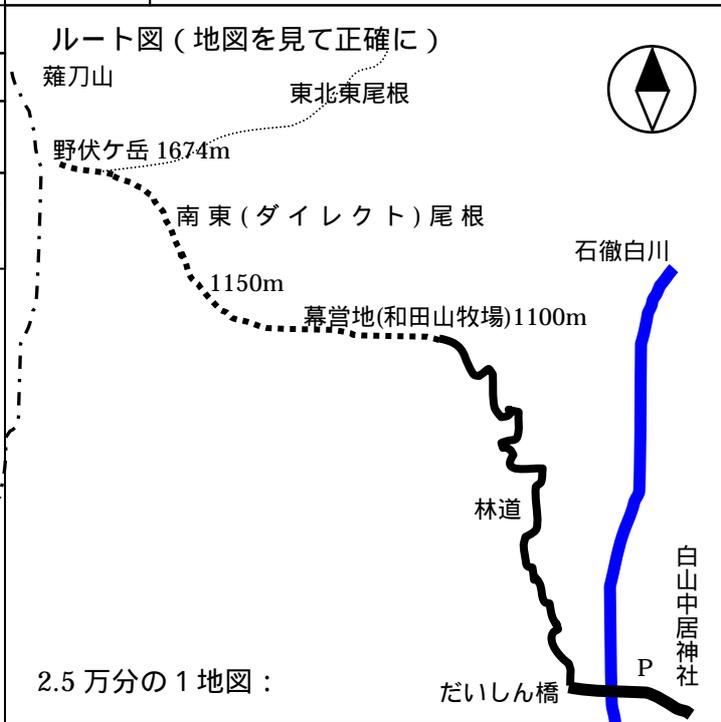


02月度 例会 個人 山行報告書		報告者	江頭	参加 メンバー	CL: 亀山 誠 SL: 江頭 孝治 藤田 健治 金子 清 町田 修 塚本 英吾 渡辺 勝利
		報告日	02 / 22		
山 域	奥美濃	山行日	06年 02月 17日(金) ~		
山 名	野伏ヶ岳		06年 02月 19日(日)		
山行目的	雪上技術の向上		コースタイム(天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



02/17(晴れ)	20:30 就寝
20:00 丸田町 P 発	
22:30 前谷拝殿着	02/19 (晴れ 曇)
	6:30 起床
02/18(快晴)	BC 撤収
05:00 起床	08:20 下山開始
05:55 前谷拝殿発	08:45 橋戻り(ｽｰ)
06:30 白山中居神社	10:20 美人の湯
だいしん橋着	14:30 丸田町 P 着
07:20 林道取付き	
08:45 和田山牧場着	
09:45 アタック開始	
10:15 ダイレクト尾根	
1150m で休憩	
11:30 野伏ヶ岳登頂	
12:20 下山開始	
13:25 和田山牧場 BC	
雪洞掘り	
16:30 夕食(すき焼き)	
山の唄 宴	

山行報告 2月の例会山行である。前谷拝殿で前夜泊、各人が明日の野伏ヶ岳を思い描きながら星空の下、眠りにつく。はたして2/18は目もくらむような快晴で、石徹白川にかかるだいしんばしでの出発準備も早々に林道に取り付く。幕営地である和田山牧場跡まで快調にとばした。幕営地を選定し、各人身軽となってアタック開始。スキーの藤田部長、渡辺先輩、町田先輩、金子先輩。スノーシューの亀山先輩。塚本先輩と私は壺。数日前の暑さのためか、平坦地も山肌も融雪のため彫り込まれたと見える無数の溝が自然の造形となっていた。南東(ダイレクト)尾根の1150m地点で一本立てる。快晴、無風、またとない好条件に、旅人は外套をザックにしまう。冬の日差しに背中を押され、尾根伝いに高度を上げる。雪面はさほど硬くもなく、アイゼンがなくとも不安がない。東北東尾根とのジャンクションを迎えるとさすがに北の風冷たく、雪面が締まる。程なく野伏ヶ岳山頂(1674m)。諸先輩とともに全山360°のパノラマを楽しむ。北に白山が大きく、振り返って大日ヶ岳。遠くは北アルプスまで見て取れた。ピリリとした寒風の中、全員で記念写真の後、おもいおもいに登ったダイレクトを下る。幕営地に戻ると休憩もそこそこに、藤田

部長の号令勇ましく、みなで雪洞を掘る。天幕近くに1m下げ、そこから横穴を1m、幅は肩幅3人以上の立派なつくりだ。仕上げに町田先輩の蠟燭台。藤田部長が自らが私と一晩明された。続く好天に助けられ、至極快適であった「お稽古にならんあ」。翌朝亀山先輩が露天で就寝と知る。

リーダー所見 白銀のゆったりした和田山。紺碧の空へそそり立つ秀峰野伏ヶ岳の頂へそれぞれのスタイルで登り7名全員が立つ。BCへ降り雪洞造り。夜は呑みながら談笑あり、山の歌あり。雪の奥美濃をしっかりと堪能する。民宿「おしたに」へ立ち寄り。ご夫妻は留守であったが息子さんの対応でご両親ともお元気とのこと。安心する。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



確認 (リーダー)
亀山
06.02.28*
作成 (報告者)
江頭
06/02/22